

平成 30 年 11 月に、山形県園芸研究会全国協議会が  
「山形ラ・フランス」の評価をまとめたもの

## 「山形ラ・フランス」の市場評価について

山形県の「ラ・フランス」は、栽培面積・生産量ともに日本で、全国生産量の 8 割以上を占めている。

また、産地を挙げて、適正な栽培管理と適期収穫、産地予冷・産地追熟、販売開始基準日の設定等、おいしい「ラ・フランス」を消費者に届ける取組を行っており、安定した品質の「ラ・フランス」が市場に出荷されている。

このため、「山形ラ・フランス」は、秋を彩る高級果物として、その上品な甘さや香りが大変人気であり、市場取引においても信頼され、各仲卸や量販店、果物専門店等に販売する商品として、無くてはならない果物として、高い評価を得ている。

さらに言えば、おいしい「ラ・フランス」出荷の取組により、「山形ラ・フランス」は、芳醇な香りとなめらかな果肉に、上品な甘さを兼ね備え、まさに「果物の女王」と呼ぶにふさわしい果実だと評価できる。

この圧倒的なシェアと品質の高さから、「ラ・フランス」といえば山形、「山形ラ・フランス」として、市場から消費者まで、広く認知されており、この地位は揺るぎないものとして確立している。

### 山形県園芸研究会全国協議会

会長 東京青果(株)果実第二事業部(東京都大田区東海 3-2-1)

専務取締役 泉英和

副会長 大果大阪青果(株)果実部(大阪府福島区野田 1-1-86)

専務取締役 西浦久雄

## 「山形ラ・フランス」の消費地における評価について

「山形ラ・フランス」は日本で唯一、産地を挙げて適期収穫、産地予冷・産地追熟、販売開始基準日の設定に取り組んでいるため、品種の特徴が存分に発揮されており、ち密な肉質、果汁の多さ、独特の芳香で食味が良く、品質のばらつきも少ない。

山形県の気候が栽培に適していることから、産地としての歴史が長く、産地全体で栽培技術の向上に取り組むことで他産地と比較して大玉の比率が高く、高品質の果実を生産してきた。

また、他産地よりも圧倒的に生産量が多いため、高級果実専門店である当社が求める食味、品質、大きさ等の条件を満たす果実を長期間かつ安定的に供給できる。

このようなことから、他の産地よりも「山形ラ・フランス」を安心して顧客に勧めることができ、顧客からも高い評価をいただいている。

また、「山形ラ・フランス」はギフトだけでなく、自宅で消費されるレギュラー品の果実も品質が高いため、首都圏の消費者から人気が高い。

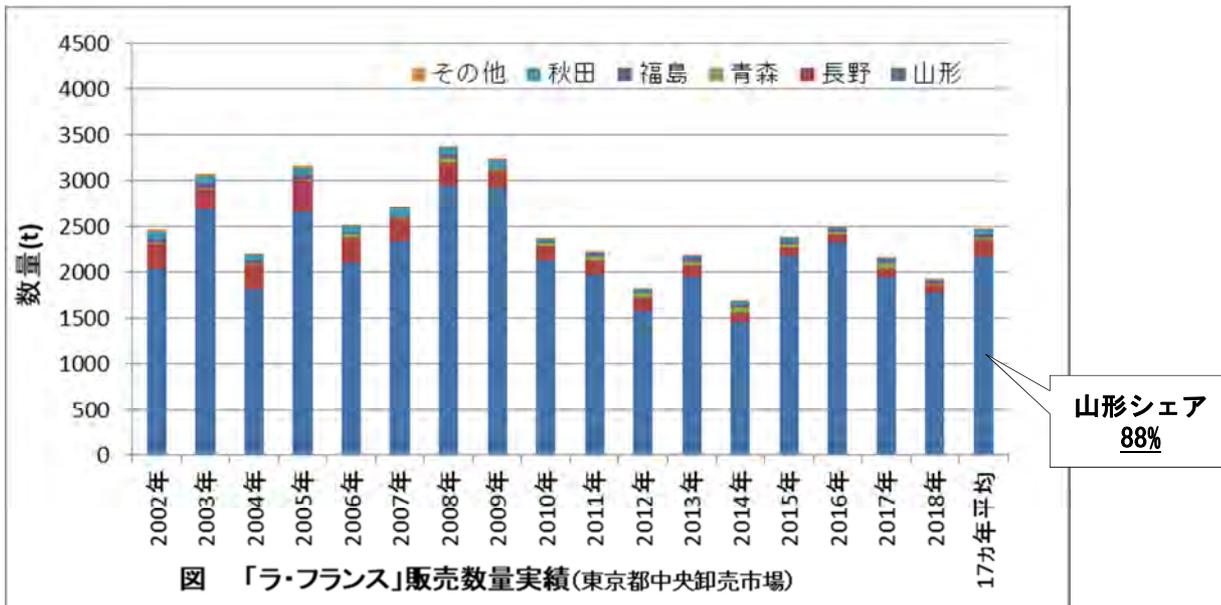
株式会社 サン・フルーツ

(東京都千代田区外神田 2-16-2)

専務取締役 営業本部長 長谷川 隆吉

# 東京都中央卸売市場における「山形ラ・フランス」の取扱実績

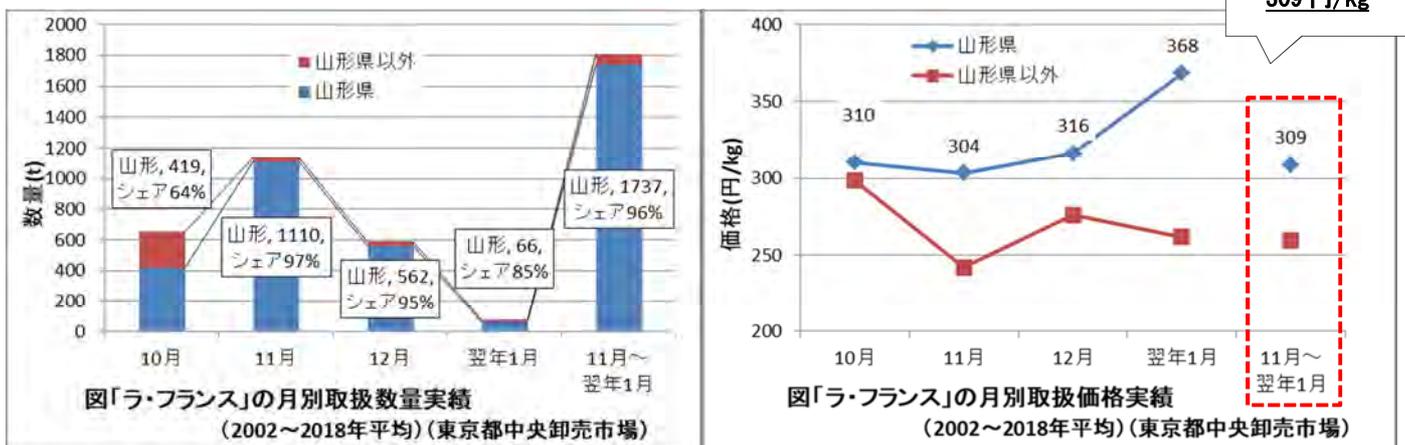
## 1 ラ・フランスの販売数量（2002～2018年）（2001年以前のラ・フランスデータはなし）



出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報）(<http://www.shijou-tokei.metro.tokyo.jp/>)

## 2 月別ラ・フランス販売実績（2002～2018年、17カ年平均値）

（2001年以前のラ・フランスデータはなし）



出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報）(<http://www.shijou-tokei.metro.tokyo.jp/>)

### 3 ラ・フランスの11月～翌年1月の販売実績（2002～2018年）（2001年以前のラ・フランスデータはなし）

表 ラ・フランス11月～翌年1月の販売価格(円/kg)実績(東京都中央卸売市場)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	17ヵ年平均
山形県	266 (112)	246 (129)	408 (131)	238 (130)	350 (122)	278 (134)	228 (137)	230 (117)	323 (109)	316 (108)	352 (119)	327 (136)	385 (123)	309 (99)	310 (108)	335 (122)	348 (111)	309 (120)
山形県以外	237	191	310	183	288	208	166	196	296	292	297	241	314	312	287	274	312	259
合計	264	244	403	236	348	275	226	229	322	315	350	323	382	309	309	332	347	307

注：括弧内は山形県外の価格を100%とした場合の割合(%)。

出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報）（<http://www.shijou-tokei.metro.tokyo.jp/>）

表 ラ・フランス11月～翌年1月の販売数量(t)実績(東京都中央卸売市場)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	17ヵ年平均
山形県	1,714 (95)	2,055 (96)	1,335 (95)	2,323 (96)	1,553 (95)	2,004 (95)	2,291 (96)	2,215 (97)	1,651 (97)	1,621 (96)	1,408 (95)	1,771 (95)	1,151 (96)	1,764 (97)	1,804 (98)	1,568 (96)	1,307 (97)	1,737 (96)
山形県以外	83	83	63	87	75	101	86	60	46	72	68	88	53	52	42	74	34	69
合計	1,796	2,138	1,398	2,410	1,628	2,104	2,377	2,274	1,697	1,693	1,477	1,859	1,204	1,816	1,846	1,642	1,341	1,806

注：括弧内は市場占有率(%)。

出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報）（<http://www.shijou-tokei.metro.tokyo.jp/>）

表 ラ・フランス11月～翌年1月の販売金額(億円)実績(東京都中央卸売市場)

	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	17ヵ年平均
山形県	4.55 (96)	5.05 (97)	5.44 (97)	5.52 (97)	5.44 (96)	5.58 (96)	5.22 (97)	5.10 (98)	5.32 (98)	5.13 (96)	4.96 (96)	5.79 (96)	4.44 (96)	5.45 (97)	5.59 (98)	5.25 (96)	4.55 (98)	5.20 (97)
山形県以外	0.20	0.16	0.20	0.16	0.22	0.21	0.14	0.12	0.14	0.21	0.20	0.21	0.17	0.16	0.12	0.20	0.11	0.17
合計	4.75	5.21	5.64	5.68	5.66	5.79	5.36	5.22	5.46	5.34	5.17	6.00	4.60	5.61	5.71	5.45	4.65	5.37

注：括弧内は市場占有率(%)。

出典：東京都中央卸売市場 市場統計情報（月報・年報）（<http://www.shijou-tokei.metro.tokyo.jp/>）



出荷前の選別作業で慌ただしい集荷センター＝大重市

# ラフランス出荷解禁

## 県内 品質保ち、全国市場へ

サクランボと並び本県を代表する特産果実のラフランスが二十七日、出荷の解禁日を迎えた。収穫後の追熟、予冷

をしてきたが、この日県内の各産地から全国に送られ、食卓に秋の味覚を提供する。

解禁日は県経済連が、品質を第一にして十分に熟したものを出荷するため、おどしから扱った。

登録農家三百八十戸、約百畝と県内一の栽培面積を誇る大重市農協（鳥誠一組合長）では、第一陣としてトラ

ックに詰め込む二百斤（五割め）の箱詰め作業に追わ

同農協によると、来年一月

末までの出荷見込み数量は、去年を五十ト上回る約四百ト。収穫は去る二十日ですべて終了した。今年も夏の日照り続きで全般的に小粒だが、その分、糖分が多く香りもよい。「例年以上に食べておいしい」とのお墨付きだ。

この日、農協集荷センターで箱詰めしたのは先月八日に収穫したもの。備え付けの大型冷蔵庫で約二十日間、五度から一〇度で低温追熟。その後、二〇度前後に加温し、ほどよい堅さと旨さに仕上げた。箱詰めは今がピークのリングと並行して行われ、五人の臨時女子職員が一個一個丁寧に紙で包み、さらに説明書きを入れて、こん包した。同農協の話では、出荷は一月末まで続き、首都圏や関西の市場、フルーツ専門店に出される。市場価格は贈答人気を反映して値上がり、去年より二割高の四千円（五割め）前後になると予測している。